

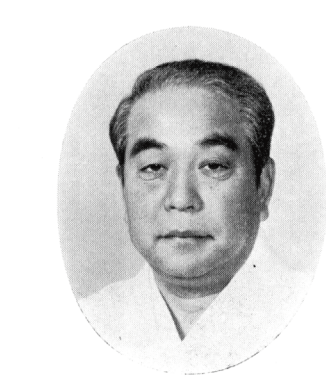


宗像 毎月十五日発行 社会 大像 定価 一年送料共 1000円

神具、装束 結核用品 株式会社 井筒 本社 福岡市博多区東門外二丁目(八八二)

後任宮司に 養父祢宜昇任

御挨拶



師走の候 愈々御清祥の御事と御慶び申し上げます 葦津嘉之宮司には、二十八年余に亘り当大社の神明奉仕一筋に生涯を捧げら

去る十一月八日急逝された、葦津嘉之宮司の後任宮司として、養父祢宜が昇任、十二月十七日付を以て宮司に就任した。

宮として勤務されていた、故久保保宮司との出会いは、昭和三十八年四月に当大社に嘱託として奉任することとなられた。昭和三十九年に権祢宜となられ、同四一年には、大社責任役員(出光興産)

大島 屋形とみえ 大島に集う人々の声高し船の灯りが道まで 大島に集う人々の声高し船の灯りが道まで

第三〇五回 宗像大社歌会詠草 中村 吾郎 選 大島 屋形とみえ 御座船は四百の船間へて 小雨降る中獨り消えゆく

今日の国旗・国歌問題

文部省の教育課程審議会(福井謙一 会長)ではこのほど、十月下旬に提出 予定の中間報告の中で、小、中、高校 の卒業式や入学式など儀式的行事での 国旗掲揚と国歌斉唱を明確に示すこと の方向を決めた。

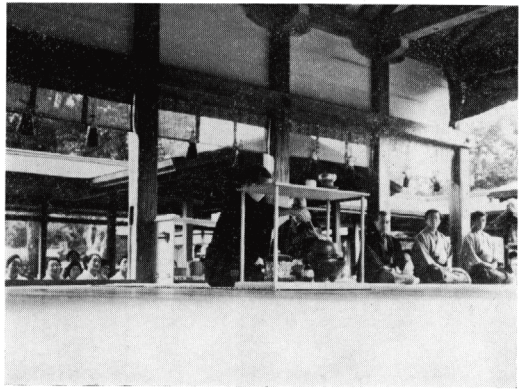
今日の日丸

例えは五十九年度卒業式で国旗を掲 げた小学校は全国平均で九二・五%だ といふのは、国民生活の上で、いかに 正しく国旗を扱っているかの現われだ。

# 献茶祭 齋行

## 表千家々元

### 而妙齋千宗左宗匠奉納



去る十月十七日、当大社恒例の表千家宗匠による献茶祭が厳かに執り行われた。

この献茶祭は昭和三十三年、当時の宗像大社復興期成会々長、出光佐三氏の御尽力により第十三代表千家宗匠、即ち高千宗左宗匠の奉納が実現したもので、それ以来の恒例の行事となつて、家元直々の御奉仕による定期の献茶祭は九州地区では異例のことであり、茶人待望の最大行事である。

当日は好天に恵まれ、秋晴れの下、勅使館を出て厳格な献茶をうけた家元一行は、午前十一時拝殿に昇壇、着座。厳肅に祭典は開始された。

拝殿に上つた風炉の前で、一糸乱れぬ襷紗さばきも美しく、淀みない御点前が披露される。斯る最高家の家元の御点前に間に接し、その動作を一つも見逃さない、この道に精進する人々の真剣な目ざしが家元にそそがれる。しばしの間、静寂の一刻が経過した。

やがて金づくの茶碗に濃茶、銀づくの茶碗に薄茶が立てられ、雅楽の音色にそよと、神前に供えられた。息をひそめて見守っていた人々の緊張も解け、感激のうちに和やかなさわめきが境内に広がった。

その後、家元を始め、関係者、宗像市、後藤、君代、宗像市、藤崎、辰子、カローリのことなど言はずが母は働きたがはく生きたままだと、剪定の枝をも集めて風呂を焚き母をなごらして老ゆ。

## 第十五回 宗像大社献詠短歌大会

### 福岡県知事賞に 金丸 柳蔵氏 (宗像市)

福岡県内でも権威のある大会として定評のある、宗像大社献詠短歌大会(主催 宗像大社歌会、後援 毎日新聞社、協賛 福岡県・福岡県教育委員会・宗像大社氏子会)が、十一月八日(土)午前十時より、当大社拝殿に於て開催された。

と、参加者の無病息災を祈念して、献詠詩事を斎行、神事終了後大会に入つた。今年はず宇宮権宮司より、当大社の御神徳・由緒などを話していただいた製作、神宝館落成を記念して製作された、映画「海の正倉院」を上映、参加者の好評を博すと共に、当大社をより深く理解していただいた。

本年度第十五回目を迎えた本大会も、山本三吾歌会会長を始め、県内外の短歌愛好者百数十名が参加し、例年にも増して盛大な大会となった。

大会に先立ち斯道の発展のため、参加者の無病息災を祈念して、献詠詩事を斎行、神事終了後大会に入つた。

## 宗像本因坊戦

### 西野六段が二連覇

宗像地区囲碁界の実力ナンバーワンを決める、宗像本因坊戦が、去る十一月二日(日)午前十時より、当大社拝殿に於て開催された。本因坊戦は、参加選手によるトーナメントでの、本因坊戦が行われた。

開会に先立ち、参加選手一同は本殿にてお祈りを捧げ、正々堂々戦うことを誓い、互いに闘志を胸に対局に臨んだ。会場内は顔見知りも多く、和気藹々の中に盤上火花を散らす熱戦が展開され、星のつぶし合戦と、十六名の自他共にその実力を認められた。



宗像本因坊 津屋崎町東町 六段 西野 照章 福岡町グリーンタウン 五段 山脇 康孝 福岡町津丸 五段 松尾 浩 下関市 細野 千忠 公話なく暮れしひと日の淋しさを胸におきまして部屋灯を消す 宗像市 今村 重刀 八幡町 田畑 シノブ 八幡町 田畑 シノブ 八幡町 田畑 シノブ 八幡町 田畑 シノブ

宗像大社歌会々長賞 筑紫野市 江口富士子 慶縁となりて幾月草深き夏野の路路既に錆びつつ 二席 宗像大社氏子会長賞 宗像市 藤崎 辰子 カローリのことなど言はずが母は働きたがはく生きたままだと、剪定の枝をも集めて風呂を焚き母をなごらして老ゆ。三席 玄海町教育委員会賞 福岡県 有高 よね 剪定の枝をも集めて風呂を焚き母をなごらして老ゆ。四席 毎日新聞社賞 小倉北区 磯部義雄 病み呆け幼なごとき母に説く妻をあはれと思ふことあり 五席 毎日新聞社賞 (佳作 入選)

## 奉納剣道大会

### 第十六回 宗像大社遷宮記念

十一月三日、第十六回宗像大社遷宮記念奉納剣道大会が午前九時より、晴天に恵まれ、菊花薫る本殿境内において開かれた。宗像地区の小学生を中心に約六百五十名の選手が参加し、野試合で熱戦を展開、午後三時すぎ終了した。



成績は次の通り、小学生一年の部 優勝 永嶋道人(津屋崎) 二位 中村 誠(玄辰館) 三位 池田裕介(神興東) 小学生二年の部 優勝 永田国茂(岬) 二位 浜田健児(玄海) 三位 中野喜敏(赤間西) 小学生三年の部 優勝 日田樹彦(日の里東)

二位 井上豊継(玄海) 三位 小門賢悟(神興東) 小学生四年の部 優勝 磯部真治(玄海) 二位 橋本 裕(日の里東) 三位 小畑裕路(玄海) 小学生五年の部 優勝 本田達夫(玄海) 二位 安部雄二(東郷) 三位 赤田雄二(東郷) 小学生六年の部 優勝 柳瀬大輔(日の里東) 二位 柳瀬 公(東郷) 三位 松永 一郎(玄海) 中学生の部 優勝 笠井寿人(新宮) 二位 佐藤太一(新宮) 三位 高倉智弘(福教大) 小学生女子一年の部 優勝 萩正のぶ(東郷) 二位 原友梨香(赤間西) 三位 藤田智江(岬) 小学生女子二年の部 優勝 清水みどり(河東) 二位 長谷川佐江子(河東) 三位 金井悦子(南郷) 小学生女子三・四年の部 優勝 野田明子(宗像) 二位 向井由美子(宗像) 三位 内田吉男(河東) 小学生女子五・六年の部 優勝 神田茂人(岬) 二位 内田吉男(河東) 三位 内田光子(河東) 中学生女子の部 優勝 伊根須章代(河東) 二位 内田光子(河東) 三位 内田光子(河東)

## 第十四回 奉納吟詠大会

### 秋の神苑に朗吟の響き

錦秋の十一月三日(明治宮)が奉納された。続いて、今年十四回目を迎えた、宗像大社奉納吟詠大会が、清音吟詠の主催により、清明殿に於て盛大に開催された。当日午前十時、清音吟詠の会長以下会員百余名により、吟詠に於て献詠の式が執り行われた。式は先ず、会長益中嶋山玉串拝礼に合せ、会員頃敏えた(と)で、お馴染みの後、会長の宗像大社を称える献吟、「宗像



### 宗像大社歌会 俳句作品集(二六)

鐘 崎 岩瀬 辰夫  
浜家にノウサバ干しや冬日  
和

名古屋 野崎 徳三  
釣人の捨てて帰るや磯焚火  
の皆様に授与致します、神

津屋崎 井浦 良介  
神苑の棚をはみ出す菊花展  
祭を誌面を以て紹介申上

田 熊 安部 ゆき  
窓うつは時雨の音ぞ夢うつ  
げます。

福岡中央 力丸玄風  
秋霖に鐘の余韻や寒山寺  
の十二支を「桶の木」を材

田 熊 力丸 一郎  
黄の蝶の黄の花わたる庭の  
石路

津屋崎 西住喜三郎  
海鳴りを背なに年毛の神も  
留守

藤 沢 井上 玄洋  
北海や紅葉映して浮寝鳥  
もみじばと共に映りし雲の

池 田 小田しめ  
影

福岡 広渡一寿軒  
鏡舌に話かけられ日の短か



### 〔案内〕 昭和六十二年(丁卯) 正月祭 社頭授与品並に 諸祈願祭齋行

昭和六十二年正月に当大社に用い、伊勢の名匠に特社社頭において、参拝者別に製作を依頼して、いまの皆様に授与致します、神

料に用い、伊勢の名匠に特社社頭において、参拝者別に製作を依頼して、いまの皆様に授与致します、神

料に用い、伊勢の名匠に特社社頭において、参拝者別に製作を依頼して、いまの皆様に授与致します、神

なウサギが逆に相手をだます主人公となるような話話と、世界各地でも、民話に登場して人々に親しまれ、そのイメージの多くはすばしこくて、いたずら好きで、ときには人にだまされるという共通性をもっています。

アフリカの民話ではウサギは王の召使として人々の仲介者となったり、未知の怪物や鍛冶の技術を人々にもたらす文化的使者や、英雄の役割を演じる動物として描かれています。

当社で授与致している「一刀彫」についても、十二支全部を揃えたいという願いが叶い縁起が良いといわれています。その「えと歳」生えの年男・年女の方々が「えと守」として受けられ、以降毎年授与希望されています。

この「うさぎ一刀彫」を来年の元旦に皆様に授与致す為、本年夏より伊勢の彫師に依頼して、一日に十体位しか彫り上げる事が出来ないとのことで、十二月末に約一八〇〇体しか納入出来ませぬ。例年多くの方々が授与希望されていますが、正月三日の間で授与させていただきますのでご希望の方は早めに当社へお越し下さい。

宗像大社「祭暦」

初穂料 一部三〇〇円也  
この「祭暦」は当社社頭にて特別授与致してあります。

◆緑起守  
ハマ矢・カブラ矢・福迎馬・えと松馬等の守札を授与致してあります。

◆縁起守  
ハマ矢・カブラ矢・福迎馬・えと松馬等の守札を授与致してあります。

◆初穂料 一部三〇〇円也

◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

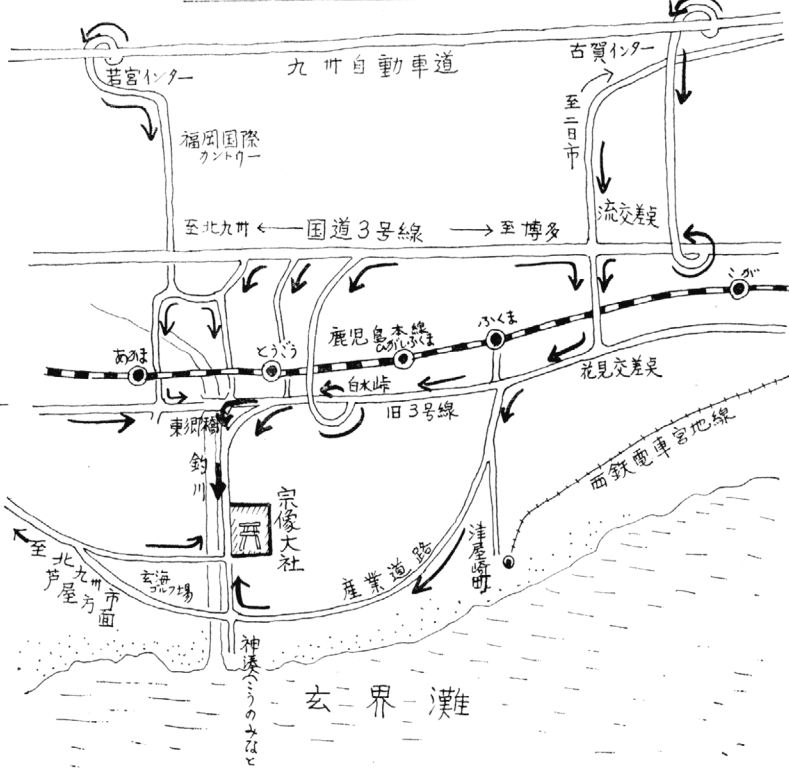
◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

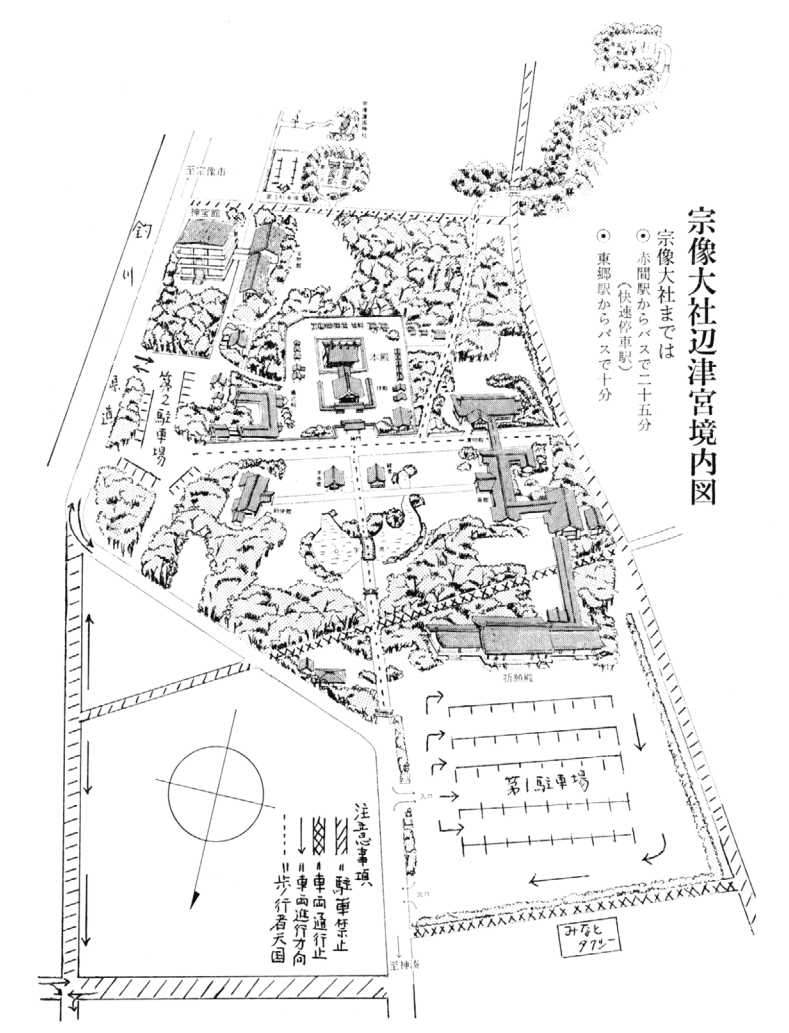
◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

### 宗像大社 正月参拝案内図



### 宗像大社辺津宮境内図



依り執り行いますので、皆様方の御家族・会社・事業所・個々人の新年の祈願祭を執り行われますよう御案内申し上げます。

◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。

◆交通安全  
特殊自動車用守から自転車用守まで授与致してあります。